

公益信託 高知市まちづくりファンド

応募用紙作成の 注意事項とポイント

記入の前に・・・

- ・ 応募用紙の様式は変更しない
- ・ 応募用紙1「受付番号」は記入しない（事務局が記載）
- ・ 応募用紙の記入欄に記載している注意事項をよく確認して記入



【共通様式】

A:「学生まちづくり」コース B:「ふくしでまちづくり」コース
C:「まちづくりはじめての一步」コース 応募用紙

※ 提出日

1 助成事業のテーマ

*事業の目的や内容が伝わるような「タイトル」を20文字程度で、ご記入ください。

2 申請団体

*正式名称をご記入ください。

※ 助成金振込口座名義と一致する必要があります

3 希望する助成金額

コース	希望する助成金額(※③)
「学生まちづくり」コース (上限5万円) 「ふくしでまちづくり」コース(上限10万円) 「まちづくりはじめての一步」コース(上限10万円)	, 000円

※③希望する助成金額は、応募用紙2の5(1)収入内訳「高知市まちづくりファンド助成金(申請額)」と合致するようにしてください。

*助成金額は、1,000円未満切り捨てでご記入ください。

4 事業の目的・具体的なまちづくりの効果・内容・実施時期

(1) 助成事業の内容(実施内容、プログラム等を具体的に)

(2) 助成事業の目的・まちづくりの効果(高知市、市民への公益性、実現による効果)

※ (1)の「助成事業の内容」を実施する目的、および(1)を実施することで、高知市をさらに住みやすいまちにするために、どのような効果があるかなどを簡潔に。

(3) 活動時期(会議、勉強会、イベント、広報紙作成など具体的にいつ、何をやるか記入してください)

実施時期	活動項目
<p>※ 西暦で記載例) 2022年〇月〇日</p> <p>日程が未確定の場合は西暦 〇〇年〇月 上旬・中旬・下旬といった形で記載。</p>	<p>※ 枠内におさまるよう、項目と詳しい内容を簡潔に記載。</p> <p>例) 【定例会】 月1回。メンバーとの打ち合わせ。 【広報】 〇〇のチラシ作成。〇〇のマップ作成。 【催し】 〇〇の開催。会場〇〇 など。</p>

5 活動経費

(1) 収入内訳

項目には助成金・寄付金・会費・参加費・印刷物販売・自己負担などを記入してください。
本ファンド以外に県・市の補助金や財団等の助成を受ける予定がある場合も記入してください。

単価:円

項目	金額	内訳
高知市まちづくりファンド助成金(申請額)		※②
会費		年 円× 名
収益金(例・バザー売上等を内訳欄へ)		
※ 他の助成金や自己負担金、寄付金などがあれば記載。		
計		※③

※ この事業にかかるすべての事業費。

(2) 支出内訳

※ 活動経費が助成額を超える場合、どの支出項目に助成金を充てるのか○印を入れる。

項目	金額	助成※④	内訳
(1) 謝金			※ 詳細を記載。 例) 謝金 @5,000円×2人×3回=30,000円 コピー代(モノクロ) @10円×100枚=1,000円 など。
(2) 旅費(国内旅費のみ)			※ パック料金など、できるだけ格安料金を調べて記載。 ガソリン代など、公共交通料金以外の実費は、単価、燃費、距離などを調べて記載。
(3) その他の経費			
※ 「収入の計」と合致。 最終報告書の提出時に事業費の合計額分の領収書(コピー可)を全て提出。			
計		※③	

※②高知市まちづくりファンド助成金額(申請額)は、応募用紙1の「3 希望する助成金額」と合致するようにしてください。

※③(1)収入内訳と(2)支出内訳の計が合致するようにしてください。

※④活動経費が助成額を超える場合、どの支出項目に助成金を充てるのか○印を入れてください。

6 申請団体の構成人員(名簿)

申請団体名	
-------	--

No.	代表者	連絡者	高知市に	氏名	学校名(何回生)、 他に所属している活動団体など	性別	年齢
1	○		居住・在勤・在学	※ 1行目には代表者を記載。		男・女	
2			居住・在勤・在学			男・女	
3			居住・在勤・在学			男・女	
4			居住・在勤・在学			男・女	
5			居住・在勤・在学			男・女	
6			居住・在勤・在学			男・女	
7			居住・在勤・在学			男・女	
8			居住・在勤・在学	※ 該当する文字以外は削除		男・女	
9			居住・在勤・在学			男・女	
10			居住・在勤・在学			男・女	
11			居住・在勤・在学			男・女	
12			居住・在勤・在学			男・女	
13			居住・在勤・在学			男・女	
14			居住・在勤・在学			男・女	
15			居住・在勤・在学			男・女	

他 () 名 ※① 合計 名 (②うち高知市民 名) ①÷3≤②であること

※①団体の総構成人員

②高知市民とは、「高知市に居住、通勤または通学している人」

※連絡者は活動内容を把握し、当ファンド事務局と連絡のつく方

**※ 代表者と事業内容を把握している
連絡者2名の連絡先を記入[必須]**

代表者氏名		【TEL】
代表者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】
連絡者氏名		【TEL】
連絡者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】

同意・申告事項

- ① この応募用紙のすべての記載事項は、助成団体の選考等、審査会の運営に必要な範囲で、本公益信託の受託者・運営委員等の信託関係者が取得・利用すること、また、助成が決定した場合は、団体名・代表者名等の情報が公表されることおよび主務官庁に提供されることについて、同意のうえ、応募します。
- ② 当助成申請の対象となる活動は、営利を目的とする活動、宗教的活動、政治的活動ではありません。
- ③ 当助成申請の対象となる活動は、市の制度で助成を受けている事業ではありません。

上記同意・申告事項の内容を確認し、同意いたします。

代表者名

D:「まちづくり一歩前へ」コース」応募用紙

※ 提出日

西暦

年

月

日

1 助成事業のテーマ

*事業の目的や内容が伝わるような「タイトル」を20文字程度で、ご記入ください。(※A・Cコースの継続事業は同一テーマとなります)

2 申請団体

*正式名称をご記入ください。

(1) 貴団体の現在までの活動実績

※ これまで団体が実施してきた事業を簡潔に記載。
 例) 西暦〇〇年〇月 設立
 “ 〇〇〇〇を実施。 など。
 ※A・B・Cコースからの継続事業の場合も実績を記入

(2)この事業に関して、貴団体以外の協力団体及び協力者があれば記入してください

※ 団体の場合はNPO、学校、企業、行政(県・市担当課)など、
 個人の場合は所属、専門なども記載。

3 希望する助成金額

コース	希望する助成金額(※③)
「まちづくり一歩前へ」コース (上限30万円)	, 000円

※③希望する助成金額は、応募用紙2の5(1)収入内訳「高知市まちづくりファンド助成金(申請額)」と合致するようにしてください。

*助成金額は、1,000円未満切り捨ててご記入ください。

4 事業の展望(長期的な事業達成のステップ)

※ ○印を記入してください。

ステップ	本年度	事業を継続・発展させるために、当年度めざす事業内容や事業目標等
1年目		※D:まちづくり一歩前へコースは、1事業3回まで助成を受けることができます。 1年目から3年目まで、長期的な事業の展望をそれぞれ記入し、本年度が何年目か分かるように該当の欄に「○」をつけてください。
2年目		
3年目		

5 事業の目的・具体的なまちづくりの効果・内容・実施時期

(1) 助成事業の内容(実施内容、プログラム等を具体的に)

(2) 助成事業の目的・まちづくりの効果(高知市、市民への公益性、実現による効果)

※ (1)の「助成事業の内容」を実施する目的、また(1)を実施することで、高知市をさらに住みやすいまちにするためにどのような効果があるかなどを簡潔に。

(3) 活動時期(会議、勉強会、イベント、広報紙作成など具体的にいつ、何をやるか記入してください)

実施時期	活動項目・内容等
<p>※西暦で記載 例)2022年〇月〇日</p> <p>日程未確定の場合 は西暦〇〇年〇月 上旬・中旬・下旬と いった形で年間計画 をバランスよく記載。</p>	<p>※ 枠内におさまるよう、項目と詳しい内容を簡潔に記載。</p> <p>例)【定例会】月1回。メンバーとの打ち合わせ。 【広報】〇〇のチラシ作成。〇〇のマップ作成。 【催し】〇〇の開催。会場〇〇 など。</p>

6 活動経費

(1) 収入内訳

項目には助成金・寄付金・会費・参加費・印刷物販売・自己負担などを記入してください。
本ファンド以外に県・市の補助金や財団等の助成を受ける予定がある場合も記入してください。

単価:円

項目	金額	内訳
高知市まちづくりファンド助成金(申請額)		※②
会費		年 円× 名
収益金(例・バザー売上等を内訳欄へ)		
計	0	※③ ※この事業にかかるすべての事業費。

*助成金額は、1,000円未満切り捨てでご記入ください。

(2) 支出内訳

※ 活動経費が助成額を超える場合、どの支出項目に助成金を充てるのか○印を入れる。

項目	金額	助成※④	内訳
(1) 謝金			※ 詳細を記載。 例) 謝金 @5,000円×2人×3回=30,000円 コピー代(モノクロ) @10円×100枚=1,000円 など。
(2) 旅費 (国内旅費のみ)			※ パック料金など、できるだけ格安料金を調べて記載。 ガソリン代など、公共交通料金以外の実費は、単価、燃費、距離などを調べて記載。
(3) 会議費 (会場費など)			※ 基本的に飲食費は対象外。但し、講師が講演する際の飲料水、 参加者の安全確保のために必要と認められる飲料水などは例外。
(4) 複写費・印刷費 (資料印刷代など)			
(5) 通信費 (郵送代、配達料など)			
(6) 消耗品費			※ 備品は原則対象外、ただし、1单品1万円以下のものは消耗品として計上可。
(7) その他経費			
計	0	※③	※「収入の計」と合致。 最終報告書の提出時に事業費の合計額分の領収書(コピー可)を全て提出。

※②高知市まちづくりファンド助成金額(申請額)は、応募用紙1の「3 希望する助成金額」と合致するようにしてください。

※③(1)収入内訳と(2)支出内訳の計が合致するようにしてください。

※④活動経費が助成額を超える場合、どの支出項目に助成金を充てるのか○印を入れてください。

7 申請団体の構成人員(名簿)

申請団体名	
-------	--

No.	代表者	連絡者	高知市に	氏名	職業、他に所属している活動団体など	性別	年齢(代)
1	○		居住・在勤・在学	※ 1行目には代表者を記載。		男・女	
2			居住・在勤・在学			男・女	
3			居住・在勤・在学			男・女	
4			居住・在勤・在学			男・女	
5			居住・在勤・在学			男・女	
6			居住・在勤・在学			男・女	
7			居住・在勤・在学			男・女	
8			居住・在勤・在学			男・女	
9			居住・在勤・在学	※ 該当する文字以外は削除		男・女	
10			居住・在勤・在学			男・女	
11			居住・在勤・在学			男・女	
12			居住・在勤・在学			男・女	
13			居住・在勤・在学			男・女	
14			居住・在勤・在学			男・女	
15			居住・在勤・在学			男・女	

他 ()名 ※① 合計 名 (②うち高知市民 名) ①÷3≦②であること

※①団体の総構成人員

②高知市民とは、「高知市に居住、通勤または通学している人

※連絡者は活動内容を把握し、当ファンド事務局と連絡のつくり

※ 代表者と事業内容を把握している
連絡者2名の連絡先を記入[必須]

代表者氏名		【TEL】
代表者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】
連絡者氏名		【TEL】
連絡者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】

同意・申告事項

- ① この応募用紙のすべての記載事項は、助成団体の選考等、審査会の運営に必要な範囲で、本公益信託の受託者・運営委員等の信託関係者が取得・利用すること、また、助成が決定した場合は、団体名・代表者名等の情報が公表されることおよび主務官庁に提供されることについて、同意のうえ、応募します。
- ② 当助成申請の対象となる活動は、営利を目的とする活動、宗教的活動、政治的活動ではありません。
- ③ 当助成申請の対象となる活動は、市の制度で助成を受けている事業ではありません。

上記同意・申告事項の内容を確認し、同意いたします。

代表者名

E:「まちづくり拠点整備」コース応募用紙

※ 提出日

西暦 年 月 日

1 拠点整備事業のテーマ ※A・C・Dコースの継続事業は同一テーマとなります

※ どのような事業を達成するために必要な整備なのかが伝わるような「タイトル」を20文字程度で。

2 申請団体 *正式名称をご記入ください。

(1)貴団体の現在までの活動実績

※ これまで団体が実施してきた事業を簡潔に記載。

例) 西暦〇〇年〇月 設立
“ 〇〇〇〇を実施。 など。

3 まちづくり拠点整備事業の場所

※ 該当するもの以外の文字を削除

整備する場所(住所)	(民有地・公有地) 〒 - 高知市
整備予定時期	西暦 年 月 月 ~ 年 月
①助成希望額	円 上限100万円(ソフト事業割合は助成額の3割まで)
②その他の資金	円
③整備費用の概算	円 ①+②=③

4 整備事業の概要

①整備の目的(何のために、何をどのように整備し、どう活用するのかなど)

②整備内容について計画上の創意工夫点は? また、整備工事における地域での費用や労力等の負担は?

③整備したい施設等がどのような人たちに利用され、地域でどのように役立つと考えますか?
また、地域のコミュニティ形成やまちづくり活動が発展する可能性については?

④整備された拠点を利用した今後の具体的な活動内容

⑤整備後の維持管理は?

⑥この事業に関して、貴団体以外の協力団体及び協力者があれば記入してください

5 土地、建物利用・取得について(必要な場合)

土地、建物等の所有者との協議状況について(話し合いをしていますか?)

1. はい(どの程度話し合っていますか?) 2. いいえ(これからどのように進めていく予定ですか?)

※ 1・2、いずれか該当するもの以外の項目を削除し、()内の状況や予定などを下の行に記載。

6 自治会、町内会への説明、話し合いや市役所への相談(必要な場合)

自治会、町内会との話し合いをしていますか? 市役所の関係する課へ相談していますか?

1. はい(どの程度話し合っていますか?) 2. いいえ(これからどのように進めていく予定ですか?)

7 整備場所について

場所(地図等)

※ 整備場所が高知市内のどの辺りか分かる簡単な地図を掲載。

現場写真

※ このスペースに掲載できない場合は、別添可。

整備イメージ

(整備事業の内容をイラストや図面などで表示)

(整備前)

(整備後)

※ 整備前の状況と、整備後どうなるかを比較しやすいようイラストや図で記載。

8 整備事業・活動の時期と内容(予定)

※ ①着工から完了までの詳しい拠点整備の内容を記載。
②整備完了後の拠点を活かしたまちづくり活動も記載。

実施する事業内容を時期ごとに記入してください。

西暦	年	実施する事業の内容等
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
西暦	年	
1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		

9 整備事業・活動の経費内訳書

(フォーム等は適宜修正可)

(単位:円)

(1) 収入内訳

項目には助成金・寄付・会費・参加費・印刷物販売・自己負担などを記入してください。
本ファンド以外に県・市の補助金や財団等の助成を受ける予定がある場合も記入してください。

項目	金額	内訳	細目・備考
高知市まちづくりファンド助成金 (申請額)		※①	
会費		年 円× 人	
収益金 (内容を内訳欄へ)			
※ 他の助成金や自己負担金、寄付金などがあれば記載。			
計		0 ※②	※ この事業にかかるすべての事業費。

*助成金額は、1,000円未満切り捨てでご記入ください。

(2) 支出内訳

項目	金額	内訳	細目・備考
		(単価×数量)	
設計・管理費			
工事費 (項目記載)			
※ 金額の妥当性を確認するため、できるだけ具体的に記載。			
(1) 謝金		※ 拠点整備を活かしたまちづくり活動をするために、整備以外の経費がかかる場合は記載。 ただし、助成金額の3割以内の経費に限定。	
(2) 旅費 (国内旅費のみ)			
(3) その他経費			
計		※②	

※①高知市まちづくりファンド助成金額(申請額)は応募用紙1の3-① 希望する助成金額と合致するようにしてください。

※②(1)収入内訳と(2)支出内訳の合計が合致するようにしてください。

10 申請団体の構成人員(名簿)

申請団体名							
No.	代表者	連絡者	高知市に	氏名	職業、他に所属している活動団体など	性別	年齢(代)
1	○		居住・在勤・在学	※ 1行目には代表者を記載。		男・女	
2			居住・在勤・在学			男・女	
3			居住・在勤・在学			男・女	
4			居住・在勤・在学			男・女	
5			居住・在勤・在学			男・女	
6			居住・在勤・在学			男・女	
7			居住・在勤・在学			男・女	
8			居住・在勤・在学	※ 該当する文字以外は削除		男・女	
9			居住・在勤・在学			男・女	
10			居住・在勤・在学			男・女	
11			居住・在勤・在学			男・女	
12			居住・在勤・在学			男・女	
13			居住・在勤・在学			男・女	
14			居住・在勤・在学			男・女	
15			居住・在勤・在学			男・女	

他 ()名 ※① 合計 名 (②うち高知市民 名) ①÷3≦②であること

※①団体の総構成人員

②高知市民とは、「高知市に居住、通勤または通学している人」

※連絡者は活動内容を把握し、当ファンド事務局と連絡のつく方

※ 代表者と事業内容を把握している
連絡者2名の連絡先を記入[必須]

代表者氏名		【TEL】
代表者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】
連絡者氏名		【TEL】
連絡者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】

同意・申告事項

- ① この応募用紙のすべての記載事項は、助成団体の選考等、審査会の運営に必要な範囲で、本公益信託の受託者・運営委員等の信託関係者が取得・利用すること、また、助成が決定した場合は、団体名・代表者名等の情報が公表されることおよび主務官庁に提供されることについて、同意のうえ、応募します。
- ② 当助成申請の対象となる活動は、営利を目的とする活動、宗教的活動、政治的活動ではありません。
- ③ 当助成申請の対象となる活動は、市の制度で助成を受けている事業ではありません。

上記同意・申告事項の内容を確認し、同意いたします。

代表者名

応募用紙のほか、下記書類をご提出ください。

1. 見積書(2社以上)

(整備事業を明確に定め、同一の整備内容で、複数社から見積書をもってください。
各費用項目は統一してください)

2. 設計図(図面)

(施工前と施工後の両方が必要です)

3. 所有者覚書—土地・建物等の所有者による承諾書

※ 必要に応じて追加資料をいただく場合があります。

送付先

〒780-0862

高知県高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階

高知市市民活動サポートセンター まちづくりファンド担当 宛

TEL:088-820-1540 FAX:088-820-1665

F:「まちづくりたまごコース」 応募用紙

※ 提出日

西暦

年

月

日

1 助成事業のテーマ

[Empty text box for theme]

*事業の目的や内容が伝わるような「タイトル」を20文字程度で、ご記入ください。

2 申請団体

[Empty text box for applicant organization]

*正式名称をご記入ください。

3 希望する助成金額

[Empty text box for amount] 円

4 事業の内容・目的・活動時期など

(1)事業内容(実施内容など具体的に記入して下さい。)

[Empty text box for business content]

(2)助成事業の目的(知識・技術の習得、課題解決、仲間づくりなど具体的に記入して下さい。)

※ (1)の「助成事業の内容」を実施する目的、および(1)を実施することで、高知市をさらに住みやすいまちにするために、どのような効果がありかなどを簡潔に。

(3)活動時期(講演会、勉強会、など活動の実施時期を記入してください。)

実施時期	活動項目・内容等
<p>※ 実施時期を西暦〇〇年〇月〇日。</p> <p>日程が未確定の場合は西暦〇〇年〇月上旬・中旬・下旬といった形で記載。</p>	<p>※ 枠内におさまるよう、項目と詳しい内容を簡潔に記載。</p> <p>例) 【定例会】 月1回。メンバーとの打ち合わせ。 【広報】 〇〇のチラシ作成。〇〇のマップ作成。 【催し】 〇〇の開催。会場〇〇 など。</p>

5 活動経費

(1) 収入内訳

項目には助成金・寄付・会費・参加費・印刷物販売・自己負担などを記入してください。
本ファンド以外に県・市の補助金や財団等の助成を受ける予定がある場合も記入してください。

単価:円

項目	金額	内訳
高知市まちづくりファンド助成金(申請額)		※②
会費		年 円 × 名
収益金(例・バザー売上等を内訳欄へ)		
		※この事業にかかるすべての事業費。
計	0	※③

*助成金額は、1,000円未満切り捨てでご記入ください。

(2) 支出内訳

※助成対象項目に○をいれてください。

項目	金額	※助成	内訳
(1) 謝金			※ 詳細を記載。 例) 謝金 @5,000円 × 2人 × 3回 = 30,000円 コピー代(モノクロ) @10円 × 100枚 = 1,000円 など。
(2) 旅費(国内旅費のみ)			※ パック料金など、できるだけ格安料金を調べて記載。 ガソリン代など、公共交通料金以外の実費は、単価、燃費、距離などを調べて記載。
(3) その他の経費			※ 「収入の計」と合致。 最終報告書の提出時に事業費の合計額分の領収書(コピー可)を全て提出。
計		※③	

※(1)収入内訳と(2)支出内訳の計が合致するようにしてください。

6 他団体等との連携について

事業を行うにあたり、連携、交流して活動を行いたい団体や個人があれば記入してください。

団体名	内容

※②高知市まちづくりファンド助成金額(申請額)は、応募用紙1の「3 希望する助成金額」と合致するようにしてください。

※③(1)収入内訳と(2)支出内訳の計が合致するようにしてください。

※④活動経費が助成額を超える場合、どの支出項目に助成金を充てるのか○印を入れてください。

7 申請団体の構成人員(名簿)

申請団体名							
No.	代表者	連絡者	高知市に	氏名	職業・学校名(何回生)	性別	年齢(代)
1			居住・在勤・在学	※ 1行目には代表者を記載。		男・女	
2			居住・在勤・在学			男・女	
3			居住・在勤・在学			男・女	
4			居住・在勤・在学			男・女	
5			居住・在勤・在学			男・女	
6			居住・在勤・在学	※ 該当する文字以外は削除		男・女	
7			居住・在勤・在学			男・女	
8			居住・在勤・在学			男・女	
9			居住・在勤・在学			男・女	
10			居住・在勤・在学			男・女	

他 ()名 ※① 合計 名

※ 代表者と事業内容を把握している
連絡者2名の連絡先を記入[必須]

※①団体の総構成人員

※②高知市民とは、「高知市に居住、通勤または通学している人」とします。該当以外の文字は消してください。

※連絡者は活動内容を把握し、当ファンド事務局と連絡のつく方に○印をつけてください。

代表者氏名		【TEL】
代表者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】
連絡者氏名		【TEL】
連絡者住所	〒	【FAX】
		【MAIL】

同意・申告事項

- ① この応募用紙のすべての記載事項は、助成団体の選考等、審査会の運営に必要な範囲で、本公益信託の受託者・運営委員等の信託関係者が取得・利用すること、また、助成が決定した場合は、団体名・代表者名等の情報が公表されることおよび主務官庁に提供されることについて、同意のうえ、応募します。
- ② 当助成申請の対象となる活動は、営利を目的とする活動、宗教的活動、政治的活動ではありません。
- ③ 当助成申請の対象となる活動は、市の制度で助成を受けている事業ではありません。

上記同意・申告事項の内容を確認し、同意いたします。

代表者名

8 市民活動サポートセンターへの支援依頼について (あれば記入して下さい。)

■ 広報等の支援	
<input type="checkbox"/> 市民活動サポートセンター内でのチラシ掲示	
<input type="checkbox"/> 「サポセン」(市民活動サポートセンターだより)での情報発信	
その他あれば記入して下さい	

よくある質問

Q: 計画していた予算より安くなりそうだが、他の必要経費に使用してもかまいませんか？

A: 原則、事前計画に無い(申請書に記載が無い)ものに対する使用は認められませんので返金になります。

計画内での変更は、軽微なものであれば認められますが、その場合も必ず事務局に報告して下さい。事後、収支報告のタイミングで計画との大幅なズレが発覚した場合は一部返金や、助成取り消しになる可能性もありますのでご注意ください。

Q: 消耗品と備品との違いは？

A: 2023年度より、備品と消耗品の考え方について、積算基準が定められました。

- ① 備品とはその性質形状を変えず、比較的長く使用し、かつ保存できる物品(耐用期間、永続性、同一性の保持)のこと
- ② 備品は原則助成対象外とする。但し、1单品1万円以下の物は消耗品とみなす。

Q: 謝金はいくらが適正金額ですか？

A: 2023年募集より、謝金の考え方について、積算基準が定められました。

- ① 全コース、1事業につき、謝金の助成上限を10万円とする。
- ② 1人1回あたりの上限を3万円とする。

Q: 活動メンバーに謝金を支払うことはできますか？

A: 団体の構成メンバーへの人件費は対象外です。応募用紙の「申請団体の構成人員(名簿)」に記載がある方への謝金は人件費扱いとなりますので、助成対象外になります。それ以外の方への謝金支払いは対象となります。